

学校だより

令和6年4月27日



学校長 あいさつ

八戸聾学校 校長 小笠原 一恵

令和6年度が始まりました。令和もすでに6年目になりました。今年は昭和99年だそうですが、時がたつのは早いですね。

さて、4月8日、盲学校松本PTA会長、聾学校斎藤PTA会長、学校運営協議会の佐々木委員、工藤道子委員の4名の来賓のご臨席をいただき、春の日ざしにつつまれながら令和6年度の入学式・始業式を挙行いたしました。今年度両校で5名の新入生と盲学校1名の転入生を迎え、八戸聾学校は幼稚部5名、小学部11名、中学部4名の20名。八戸盲学校は小学部8名、中学部2名の10名。合わせて30名でのスタートを切りました。

感染症の制限や影響も少なくなり、本来の活動に戻っているところも多くなりました。これまでの知見を生かしつつ、新しいやりかたになっていることもあります。世界を巻き込んだ感染症は、生活や社会の様式までも変えました。学校教育も大いに影響を受けました。それでも春がくれば咲きほこる桜と同じに、子どもとともに進むという教員の意識は変わらないと感じています。

今年度から新しい取り組みとして盲聾合同で体験学習を実施します。中学部3年生や小学部6年生に「学校生活で一番思い出に残っていることや楽しかったことはなんですか」と質問するとほぼ全員が「修学旅行です」と答えます。仲間や先生と一緒に電車やバスに乗り、知らない町に行く。行く前の調べ学習や、事後のまとめ学習などをとおして、調べたことを楽しかったこと思い出す。そんなわくわくする学習を盲聾合同で実施し、知識とともに思い出をたくさん積み重ねてほしいと思っています。

保護者の皆様をはじめ、本校にかかわる皆様に、今年度も学校の応援団として、本校の教育活動にご支援とご協力をお願いいたします。



幼稚部



学校探検・はるをさがそう



3歳児学級に1名が入学、4歳児学級に1名が転入し、新しい春を迎え、どの子も新しいことに挑戦しようとする様子が見られます。

学校探検では、みんなで校舎のいろいろな場所を見てまわりました。はるをさがそうでは、つくしやちょうちゅう…たくさんの植物や生き物を見つけることができました。



小学部

10名でスタート！！



小学部は1名の新入生を迎え、10名でスタートしました。毎朝元気な挨拶から始まり、がんばりタイムのダンスや縄跳び、昼休みには校庭で鬼ごっこ、多目的室では大縄跳びと明るくにぎやかな小学部です。令和6年度も10名で協力しながら、わくわく楽しい学校生活を過ごしていきたいと思います。

4月19日（金）には、交通安全教室が開かれました。1～4年生は、校外に出て安全な歩行の仕方を、5～6年生は中学部と一緒に安全な歩行や自転車利用の仕方について勉強しました。交通安全に気を付け、事故なく楽しい毎日を過ごしていきたいです。



信号と右、左をよく見ます。車が来ていなかったら、横断歩道を渡ります！



余談ですが…。警察官のワッペンに青森県の鳥、白鳥が付いているって知っていましたか？





令和6年度 中学部スタート！

中学部は1年ぶりに新入生2名を迎え、3年生2名と合計4名でスタートしました。入学式では新しい制服に身を包んだ二人は、中学生として新たな気持ちで頑張ろうという決意が感じられました。

4月9日には、中学部オリエンテーションを行い、みんなで自己紹介をし合ったり、以心伝心ゲームをしたりして友達や先生と親交を深めました。友達や先生の意外な一面を知り、話題が尽きませんでした。絆を深めて、様々な行事にチームワークで取り組んでほしいと思います。

学部オリエンテーション



生徒会長認証式



今年は17名でスタート



令和6年4月は17名でにぎやかにスタートしています。幼稚部6名、小学部9名、中学部2名です。異年齢の舎生同士で言葉を掛け合い、指導員が見守る中、一緒に遊んで仲間意識を育んでいます。

指導員、舎生の皆さんと楽しい寄宿舍にしていきたいと思っています。今年度もどうぞよろしくお願いします。

寄宿舍1階の畳替えをしていただきました。寄宿舍中が新しい畳の香りでいっぱいになりました。



小学部生になると、同じ部屋の友達と一緒に掃除をします。

